

成果物 2-1

効果的なリクルート手法の実践及び事業に関する調査研究報告書

特定非営利活動法人子どもリエゾンえひめ

1. 様々なリクルート手法の実践

(1) HP、SNS による情報発信

①HP

②Instagram、リール動画

③X

④LINE

⑤Facebook

- ・SNS フォロワー数延べ 534 名
- ・HP 閲覧数延べ 約 42,000 回
- ・HP、SNS 更新回数延べ 約 470 回

(2) フォーラム案内配布

配布先:愛媛県内の児童福祉関連施設、医療・福祉関連団体、大学等、公共施設等

(3) 新聞記事

①子どもリエゾンえひめの活動

- ・まいたうん 7 月号

②里親支援センター開設

- ・愛媛新聞 8 月 2 日掲載

③第 2 回子どもリエゾンえひめフォーラム

- ・リビングまつやま 8 月 28 日号
- ・読売新聞 9 月 27 日掲載
- ・愛媛新聞 9 月 30 日掲載

④寄付贈呈式

- ・愛媛新聞 9 月 6 日掲載
- ・四国中央レポート 9 月 30 日号

⑤里親月間

- ・リビングまつやま 10 月 18 日号

⑥第 3 回子どもリエゾンえひめフォーラム

・愛媛新聞 2月20日、2月23日掲載

⑦リエゾンゼミナール

・愛媛新聞 3月16日掲載

(4) テレビ放映

①里親支援センター開設

・NHK、南海放送、あいテレビ 8月1日放送

②里親月間

・NHK、南海放送、あいテレビ 10月4日放送

(5) ラジオ放送

①里親制度周知

・南海放送 4月2日

・FM 愛媛 10月28日

(6) イベント・街頭広報活動

①子どもリエゾンえひめフォーラム 9月29日、2月22日

②街頭活動(市駅前) 10月4日

配布数:約 500 部

③地域・学校等イベント 9月21日、9月28日、10月9日、10月15～31日、10月20日、11月3日、11月10日、2月3日～3月7日

配布数:約 1500 部

④地域福祉関連組織・協議会等 5月11日、5月16日、5月22日、6月8日、6月22日、8月26日、8月28日、9月5日、1月7日、1月15日、3月8日

配布数:約 1200 部

(7) 茶話会(7～3月)

計 13 回実施

重点地区(松山市内中心部へのポスティング(全戸配布)等

合計 30 万枚

2. 評価

今年度は HP、SNS での発信、ポスティングによる広報を中心に行った。HP、SNS は発信回数を増やすことで、活動情報が目に入る機会が増え、フォロワー数も大幅に増加した。ポスティングは茶話会開催地域を中心に松山市内、四国中央市内で幅広く行った。ポスティングにより茶話会に参加して下さる方もいたが、費用対効果の面

で継続は難しいと考える。

[SNS 関連]

- ・事業に関する情報を中心に広く展開した。こまめな更新を心掛け、情報が目に入る機会を増やすことで、フォロワー、閲覧数ともに大幅に増加した。
- ・HP で連載中のコラムでは理事のコラムが好評で、閲覧数の増加の一因となっている。
- ・こまめな情報更新等により、里親についての問い合わせ増加、里親登録へつながっている。
- ・Instagram は昨年度に続きフォロワー数、フォロワーの反応ともに良く、今後もリクルートツールとして活用していきたい。

[地域に対する情宣活動]

- ・子どもリエゾンえひめフォーラム、リエゾンゼミナールなどで県外講師を招致する際に新聞に掲載し、幅広く活動を周知することが出来た。
- ・地域の大きなイベントにてパンフレットの配布等行うことができた。里親制度の周知を図るとともに、地域参画の一步とすることができた。

3. 課題

- ・幅広い一般層向けに、より具体的で分かりやすい情報提供と広報活動を展開する。費用対効果とターゲット層を鑑み、配布物の内容や配布場所等について検討する必要がある。
- ・本 NPO のミッションおよびビジョンをより明確に打ち出す効果的なイメージとデザインを開発する。
- ・各地域の様々なイベントに参加して周知を行い、里親の少ない地域に頼れる里親を増やせるようにしたい。

以上

作成日:令和 7 年 3 月 31 日